

会員数	39,870	(前月比)	+ 17
郵送	9,246	(前月比)	- 120
手配り	28,750	(前月比)	+ 131
協同基金到達額	2,557,463,000円(7/31現在) [前月比 42,516,000増]		
協同基金出資者数	20,684名(7/31現在)		
いのちを守る助け合い募金額	39,164円(7/1~31)		

開所 1周年

「友の家・オリーブ」に 田端理事長を迎えて

「友の家・オリーブ」開所1周年記念行事として、田端理事長に講演を依頼して、7月12日に実現しました。当日は15人の参加で、有意義な時間を共有することができました。

「友の家・オリーブ」開所1周年記念行事として、田端理事長に講演を依頼して、7月12日に実現しました。当日は15人の参加で、有意義な時間を共有することができました。

昨年7月の「友の家・オリーブ」開所の時に、田端理事長に来ていただきました。それがきっかけで、「全支部たまり場訪問に広がった」とお聞きしました。

「友の家・オリーブ」開所1周年記念行事として、田端理事長に講演を依頼して、7月12日に実現しました。当日は15人の参加で、有意義な時間を共有することができました。



ふくいずみ支部

先んずくから、田端理事長のお話を聞いて、「やれるこ

先に考えてくれる人、私たちも賢く選んでいかなくては」と思いました。「オリーブ」では、予定している行事が制限されて、頭を痛めています。そんな中、田端理事長のお話を聞いて、「やれるこ



とから、気長に取り組んでいこう。少人数でもコツコツ、いつか報われることを信じて頑張ろう」と再確認をしました。(江戸 道子)

介護 の現場から ②4

訪問看護ステーション
管理師長

宮川 光代
りました。薬剤師も訪問して薬を届け、ご相談にも対応しています。先日も退院後、痛みのコントロールを行う

い、ご家族との時間を過ごされ、おだやかに

「ご自宅で療養される場合は、看病されるご家族の不安が大きいです。訪問看護では24時間体制で電話対応を行い、必要な場合はご自宅を訪問して対応しています。病院に行った方がいかどうかも、主治医と連絡を取り、ご相談に応じます。

「住み慣れた自宅で」の 望みを支援

新型コロナウイルスの感染拡大が止みません。病院では面会制限をせざるを得ず、「家族と過したい」と希望して、「がんの終末期を在宅で」と選択される方が増えています。訪問診療、訪問看護、訪問介護ケアマネジャーなど、多職種で療養を支援しています。以前は入院中しか使

用できなかった痛みを和らげる薬も、在宅でも使用できるように

旅立たれた方に関わらせていただきました。また、退院できるとはいいがたい状態でしたが、強いご希望があり、退院され、退院を待ち焦がれていたご家族と力強く抱き合われる場面に立ち会わせて

宅で」と希望される場合は、チームで支えます。新型コロナウイルスの影響はありますが、「住み慣れた自宅で」という利用者さんの望みをかなえるお手伝いが出来たら、幸せに思います。

「健チャレ」が新しくなりました!



「おおさかまるごと健康チャレンジ2021」にご参加を
10月~11月の60日間、継続して健康づくりにチャレンジしてみませんか? チャレンジ後、12月20日(月)までに結果報告書に自己評価や感想を記入し、郵送してください。報告書提出者には、参加賞などがあります。

〈参加申し込み方法〉

パンフレットに付いている「申込書」に必要事項を記入の上、9月20日(月・祝)までに投函してください。
※パンフレットのない方は、健康友の会みみはら事務局(072-244-8061)までお電話ください。

〈お知らせ〉10月号の発行は、暦の関係で9月30日になります。

聴診器

8月始め、東京都はコロナ感染者も増加し、大阪府も1000人を超えた。首相や知事が切り取った。政府は「軽、中等症者はベッド確保のため、入院させない」とした。政府と府の失政結果である。外出自粛、飲食店に時短を要請するが、補償金給付の遅れや感染経路不明への対策はない。この号が出る8月末には、感染者がさらに増えなければいいが、政府は、2019年に決めた公的病院のベッド減らしを進めている。2022年以後、75歳以上の医療費窓口負担は2倍に、2023年から医学部定員削減も決めた。福島原発放射線アンダーコントロール発言、職員自死に追い込んだ財務省文書改ざん指示、基地建設沖縄辺野古の埋立、コロナ禍緊急事態条項を盛り込む憲法改定案、こんな政治でいいのか。さあ総選挙で変えるよ。今のままでいいはずはない。「選挙に行こう」と言おう、周りに「行こう」と言う人を増やそう。メールのやりとり、ケータイや仕事場でのちよっとしたおしゃべりの中で、政治の話をするよ。感染対策も、医療介護も、年金も、子どもたちの学校も、憲法も、ぜんぶ政治。いつでも、どこでも、誰とでも、政治の話ができる社会にしよう。(和)